

+++++

「植物と人々の博物館メールマガジン」 第39号 2018年2月10日発行

+++++

小菅村は雪景色です。エンドウ4品種、南部小麦は特段の寒さにめげずに、順調に生育しています。麦踏み3回目をしました。例年になく寒さと乾燥が厳しかったようです。田畑が茶色に枯れあがって、緑色が少ないからです。自生冬菜のロゼットも周りの葉は枯れています。それでも、ジャガイモの種薯も届きました。野菜の種子も買いそろえました。春が待ち遠しいです。

日本村塾ゼミで、自然のなかでの暮らし、生業を、皆様と一緒にもっと学び、山民、ここで暮らす人びとの誇りについて話し合いたいです。会員および配信を希望される方に「植物と人々の博物館」の公開活動ニュースなどをお送りしています。なお、自然文化誌研究会の全体の活動は会誌「ナマステ」年4号でお知らせしています。友の会会員になっていただければうれしいです。顔見知り信頼のクチコミで友人・知人に転送伝達していただけるとうれしいです。

○報告

1. 植物と人々の博物館の復興、

購入書架に書籍を並べ、テーブルといすも用意し、よい空間になってきました。雑穀街道の展示は再開しました。展示「多様な生業」を企画していますので、民具整理や展示準備、データ整理などご協力ください。狩猟・漁撈は黒澤ら担当、採集・農耕（海外調査の道具など含む）は木俣が担当します。また、自然文化誌研究会らしさを出したいので、冒険探検関係の資料・用具などがありましたら、展示にお貸しください。

2. 民族植物学ゼミ第5回

下記の通り開催しました。日時：2018年1月27日（土）午後2時から4時、場所：JR飯田橋駅近くのカフェ、話題：自然と感じる農耕の楽しさ。参加：木俣ほか6名。推薦図書：レイチェル・カールソン（1956）、上遠恵子訳（1996）『センス・オブ・ワンダー』、新潮社。参考図書：同左（1962）、青樹築一訳（1974）『沈黙の春』、新潮社。

3. 雑穀街道

相模原市長、上野原市長、小菅村長、丹波山村長に賛同依頼と関連資料を重ねて送りました。今のところ問い合わせはありません。今回の申請締め切りは6月です。FAO世界農業遺産関連情報をお伝えするウェブページ『雑穀街道』では、雑穀街道普及会の賛同者を募っています。賛同が広がるようにどうぞ援助くださいますようお願いいたします。FAO世界農業遺産ですから他地域や外国の方々も含めて賛同者を増やすように、一層のご助力をお願いします。下記ホームページに活動の現況や関連資料を順次更新していきます。世界農業遺産などに関する紙ベースの資料・図書は「植物と人々の博物館／森とむらの図書室」で閲覧していただけます。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/millstr.html>

なお、『日本雑穀のむら』第4章で、雑穀街道地域の調査研究の成果（1974～2017）をまとめてあります。

<http://www.milletimplic.net/milletworld/milletn/jnmpilvil.html>

○予定

1. 開館作業予定日：2018年2月9日（金）、16日（金）、23日（金）、3月9日（金）の予定です。

植物と人々の博物館／森とむらの図書室では、順次、図書・資料や民具の展示を再開しています。作業にご協力いただきたく、よろしく願います。ご協力いただける方は黒澤または木俣にメールしてください。ご都合に合わせて、日程調整します。

kibi20kijin@yahoo.co.jp

2. 「憲法に環境原則を追加する提案」についての研究会を認定NPO法人環境文明21（憲法部会）で行っています。次回は2018年未定です。ご興味があれば詳細をお知らせします。現在の提案書（憲法前文と第三章環境を加筆）は次のホームページで読めます。

<http://www.kanbun.org/2017/170824teigen/170824teigen.html>

3. 提案

1) 第40回環境学習セミナー（案）

日時：春。場所：上野原市。話題：雑穀街道における家族農業、自給農耕、ファーマーズマーケットの楽しみと食料安全保障について、話し合いたいと考えます。その上で、FAO世界農業遺産に認定申請について話し合えたらよいと思います。

2) 日本村塾の自給農耕ゼミ、民族植物学ゼミ、扶桑こくゼミは、希望者があれば読書会開催します。都市農業や家族農業の図書文献は森とむらの図書室（小菅および藤野分室）で閲覧できます。講演や研究報告はホームページで読めます。

4. 民族植物学第11号は編集集中です。第12号の原稿締め切りは2018年7月とします。関東地方の雑穀栽培、アニミズム信仰論など準備しますが、ご寄稿を歓迎します。バックナンバーは第7号～第10号まで少しあり、希望者に差し上げます。第1号から第10号まで、すべての記事はホームページで読めます。

5. 藤野での雑穀栽培講習会は継続開催されるようです。

6. 講演会：7月22日（日）午後1時～3時、話題：こんな食物もアフリカからやってきた。JICA地球広場市ヶ谷。

7. 環境教育学会エクスカーション（予定）8月末。小菅村、内容未定。

8. 『雑穀の民族植物学—インド亜大陸の農山村から』は民族・信仰について学びながら、パキスタンおよびインド各州について、個人の現地調査の体験をまじえながら、自由に書いています。第9章ネパール・ブータンの雑穀をまとめています。同じく、『日本雑穀のむら』は第4章関東山地中部地域の雑穀栽培について公開しました。『環境学習原論』および『第四紀植物』、“Essence of Ethobotany”はまだ目次構成程度ですが、書き始めています。これらは、下記の個人ホームページで読めます。引用して下さる場合は、順次必要に応じて改訂していきますので、「木俣（2018 未定稿）」としてくださるようお願いいたします。

自然文化誌研究会（東京都日野市）：代表 中込卓男、副代表 中込貴芳（東京）、小川泰彦（埼玉）

ミューゼス研究会／トランジション小菅（山梨県小菅村）：代表 青柳諭、副代表 亀井雄次

植物と人々の博物館（山梨県小菅村）：館長 木下善晴

日本村塾生・研究員：木俣美樹男（東京）、西村俊（石川）、藤盛礼恵（千葉）ほか

雑穀街道普及会 <http://www.milletimplic.net/milletsworld/millstr.html>

事務局長：黒澤友彦（山梨県小菅村） npo-inch@wine.plala.or.jp

公式 HP：自然文化誌研究会 <http://www2.plala.or.jp/npo-inch/>

植物と人々の博物館 <http://www.ppmusee.org/>

メールマガジン発行：木俣美樹男 kibi20kijin@yahoo.co.jp

個人 HP：生き物の文明への黙示録 <http://www.milletimplic.net/>

写真



小菅村の雪景色、植物と人々の博物館展示台の設置、森とむらの図書室の整備状況